



新宮つばみ保育園年報 第14号

2025年(令和7年)9月1日 発行

発行/編集

社会福祉法人 輔仁会
新宮つばみ保育園

〒811-0124 糟屋郡新宮町新宮東5-1-18
<http://www.hojinkai.ed.jp/s-tsubomi/>

「ある保育園」の思い出 理事長 大浦 純平

(元:さわらび保育園 保父 / 前:つばみ保育園 園長)



今年三月末、福岡市博多区のお寺が運営する「花ぞの保育園」が経営難を理由に閉園しました。在園児数十名が突然の転園を余儀なくされた。『この報道に心が痛みました。』
というのも、戦後、満州鉄道学校で講師をしていた私の祖父が母を連れて引き揚げてきた折、昔の「僧仲間」であつた当時のそのお寺の住職さんがうちの境内にある保育園を運営してくれないかと言ってくれ、浪々の身であつた祖父は有難く携わることとなりました。
母は祖父と共に園の敷地内にある小寺に住み込み、主任保母として保育の世界に入りました。
やがて母は結婚、私と弟が生まれ大卒卒業の頃までその生活が続きました。
……………
そして昭和38年、福岡市が土地を提供して応募者に保育園を造らせる。所謂、「福岡方式」なるものが動き出した。多くの人に勧められ手を挙げ

母は「つばみ」の運営の傍ら、花ぞのの面倒も見ていました。しかし、昭和50年にお寺より経営権の返還を求められ、祖父と母は潔く退きました。
当然、住居も他に移すことになって「花ぞの」との関係は途絶えた。
……………
その後、母は「さわらび保育園」を開設し、後継の私が「新宮つばみ保育園」を開設し、分園を二ヶ所所設しました。保育園経営の社会福祉法人としてはこの規模に育つてきました。
……………
そして今年、多くの方々に支えられ、輔仁会も還暦を迎えることとなりました。心より感謝申し上げます。
私も在籍47年、第4コーナーを曲がりゴールも直前にになりました。スマートにゴールテープを切るつもりでいます。その時までどうぞ宜しくお願い致します。

変わらないものを大切に 本部 次長 大浦 まゆみ

(元: つばみ保育園 事務主任 / 前: 新宮つばみ保育園 園長)



今年60周年を迎えた輔仁会。私が在職した40年の間「つばみ、さわらび、新宮つばみ」3園の歩みを見てきました。この間の世の中の変り様には驚きも連続です。昭和の時代に何もかも手書きだったことが、パソコンであつという間にデータ化できる。人々はスマホを手にし、文字でも声でも映像でも、どんな遠い場所であろうと、瞬時に連絡を取ることができる。便利な機械が作られ家事は楽になり、物が溢れ人々の暮らしは豊かになったでしょう。しかし変わらないものもあります。幼い子どもの澄んだ瞳の輝き、子どもに向ける保育者の温かいまな

ざし。言葉も画も良質の絵本、心地よい歌声、美しい音で奏でられる音楽……。時代の変化により保育の方法が変わったことはあっても、輔仁会の理念は変わりません。まず子どもの「気持ちを受けとめる」こと。人と人との関りだから。
60年の中で輔仁会の保育に情熱を傾けてくれた沢山の職員の方々に感謝しつつ、今後も、時代の変化に対応しながらも良いものを守り、更に質の高い愛される3園になることと、未だ果たされていない世界の平和を願います。

法人本部副次長兼さわらび保育園副園長の大浦哲平です。いつも各園の運営にご理解、ご協力をいただき、誠にありがとうございます。
輔仁会に入職して早いもので一年が経ちました。今まで経験のなかった保育の世界に飛び込み、最初は戸惑うことばかりでしたが、子どもたちの笑顔や日々の成長、そして頼もしい職員達からの温かい指導と支えのおかげで、一年間歩んできたことができました。職員の方々に「この場を借りて、改めて感謝申し上げます。」
この一年、各園の保育の現場に立ち会わせていただき、現場で奮闘する職員の保育に対する情熱を感じながら、自分自身もたくさんの子どもたちの個性に向き合ってきました。
保育という仕事は、時にはつくりした正解がないと

一年が経ちました

さわらび保育園 副園長
法人本部 副次長

大浦 哲平

いう難しさを感じることがありましたが、単なる業務ではなく、子ども達の成長や人生に深く関わることであり、とても尊い営みであることを実感しています。
園の運営面では、まずは保護者の皆さまとの信頼関係を大切にしながら、時代に合った保育サービスを提供するべく、年々変化・複雑化している保育制度や保育園に求められる機能・役割等の理解に努めてきました。
これからの従来からの法人理念等は大切にしつつ、

自己満足・独りよがりではなく、保護者の皆さまを始めとする関係する方々のニーズをしっかりと捉え、それにあつた価値を生み出し続けていきたいと考えています。
またまた知識、経験不足を感じる毎日ですが、輔仁会の理念である「子どもたちに最善の喜びと幸せを子育てに夢と力を」という言葉を体現していけるよう、各園の職員とともに、研鑽を重ね、よりよい園の形を追求してまいります。
これからもどうぞ、温かく、そして時に厳しく指導いただければ幸いです。引き続きよろしくお願い致します。



笑顔と成長を見守って

2025年度 父母の会 会長 田中 早紀



例年以上の猛暑日が続く、熱中症や体調不良の心配が尽きない、そんな日々ではありますが、園の先生方の暑さ対策や遊び方の工夫によって子どもたちは暑さに負けることなくプール遊びに水遊び、虫取りと元気いっぱい楽しんでいるようです。

猛暑だからといってお部屋に籠るのではなく遊び方や時間を工夫し、おもしろい体を動かせる環境作りをしてくださり、感謝の気持ちでいっぱいです。

我が家の夏はどのように過ごそうかと子どもたちにこの夏やりたいことを聞いてみると、お祭りに行きたい、かき氷を作りたい、海やプールに行きたい、スイカ割りをしたいなど、やりたいことリストが夏らしくていっぱいになりました。こんな些細な会話の中でも夏らしい事に沿って会話ができることに驚かされ、子

どもたちの成長を感じ、嬉しく思うそんな夏がスタートしました。猛暑はまだまだ続きますが、やりたいことを一つでも多く叶えてあげられるよう、健康第一に残りの夏も子どもたちが元気いっぱい充実した日々を送れるよう、早寝早起き、小まめな水分補給や休憩などできることから無理なく取り入れ、体調管理をしていきたいですね。

今年度の父母の会活動といしましては昨年度と活動内容は同じではありますが、今年度も父母の会会員みんなで支え合い保育園行事を通じて子どもたちの成長に繋がるサポートをし、子どもたちの小さな成長にも気がつけるよう寄り添い見守っていけるような活動ができればと思っていますのでどうぞご協力のほどよろしくお願い致します。

開園から20年経ちました

園長 藤井 由



今年も猛暑だった夏が終わろうとしています。年々夏のこの暑さは、高まっているように感じますね。
20年前、2005年7月1日に新宮つばみ保育園は開園しました。やはりあの時も暑い夏でした。
お母さんやお父さんと初めて離れて、保育園に入園してきた子ども達、どんなに不安だったことでしょう。泣き声も保育園中に響きわたり、そんな子ども達を全職員で抱っこしたりおんぶしたり。全力で子ども達と早く心を通わせようとし懸命でした。全員新入園児の開園は、こんなにも大変な事なのかと、私も初めて経験しました。
当時、新宮町内には新宮つばみ保育園以外に一園しかなく、新宮つばみ保育園は町内で二番目にできた保育園でした。新宮町は人口増加が見え、保育園の誘致をし、町の計画通り、毎年園児数も増えていきました。この20

年間で新宮つばみ保育園を卒園した子ども達は総勢568名にもなります。
つい先日8月30日に、新宮つばみ保育園の20周年記念写真展を行いました。今年の三月に卒園したばかりの1年生から、上は23歳の立派に育った青年まで大勢の卒園児達が会いに来てくれました。ポスターやチラシで呼びかけたのですが、どこかで情報を目にしてくれたのでしょうか。100名を超えた卒園児と保護者の方から返信がありました。地域で保育園として20年、皆さんに見守られながら歩んできました。そして皆さんから愛されていると実感し、とても嬉しく思いました。
開園当初から掲げている「子ども達に最善の喜びと幸せを、子育てに夢と力」という私たちの理念は、今までもこれからも、ずっと揺らぐことなく、胸に抱いて、保育をしてまいります。

選ばれる保育園

主任保育士 土谷 賢吾

新宮町地域子育て支援センター「かんがる」も、おしえて！保育園・幼稚園・認定こども園に参加していること、その中で子どもたちが生き生きと定着している様子を見ることができ、これは、新宮町の保育園・幼稚園・認定こども園の親の対象に、PR動画と、パンフレットを制作しました。当日は園長・主任が参加し、新宮つばみ保育園の魅力をお話しするといった保護者の方たちも熱心な話を聞いてくださり、興味を持っていただけたと思います。



『20周年記念写真展』までの道のり

分園主任 中岡 千晶

8月30日(土)に20周年記念写真展を開催しました。今回のイベントは、ポスター作りから全ての職員の手作りで、準備も、昔を思い出しながら楽しく行うことが出来ました。写真展では、各年度の行事ごとに写真を並べました。写真を整理しながら見て！〇〇先生がこんなに若い！「あ！〇〇ちゃんだ！」と思いがよみがえり、あんなことやこんなことがあったよな！と昔話が弾んで作業がなかなか進みませんでした。また、途中で「集い」を行い、職員の出し物として新宮つばみ保育園職員の出意なコーラスを披露しました。保育園の一日をテーマにした替え歌で、練習を始めたころは各パー



ト難しいと苦戦していましたが、音源を録音して各自個人練習をした後、動画を撮影して歌声のバランスを確認したりして本番を迎えました。衣装のお揃いのフリフリエプロンも保育士の手作りです！観て・聴いて楽しい内容になったのではないかと思います。給食室からは、卒園児に、おやつの時間に食べていた、お菓子も準備しました。懐かしく思ってもらえたら嬉しいです。歴代の卒園児と、保護者の皆さんに喜んでいただきたいという思いでワクワクしながら準備を進めることが出来ました。

栄養士の実習生を

受け入れて

栄養士 小緑 由香利

今年度、新宮つばみ保育園の給食室に久しぶりに栄養学科の実習生 中村学園大 福岡女子大が3名やってきました。初めて大量調理の現場を経験する彼女たちは驚きが多かったようで、疑問点や気が付いたことをたくさん伝えてくれました。現在の給食室の職員は、ある程度経験年数の長い人ばかりなので普段の業務ではそんなに細かい指示を出したりしなくても困ることはありません。ですが、今回実習生が来ているということいろいろなことを説明しながら調理をしたり、作業をしてみてもいいなとあります。それは「言語化」することの大切さです。

例えば「この食材はこんな誤嚥事故があつて危ないのでこの形に切ります」「食べやすさを優先するとスプーンだけで、年長組には箸も使つてほしいからあえて箸を出します」などこちらの考えを細かなところまで言語化しながら指示を出す、他の給食室の職員からも「やあ、この切り方のほうがもつといいんじやないか」「あの献立も今度からお箸にする」と個々から活発に意見が出てきました。言語化してより明確に伝える事で、給食室全体で共有して考えるきっかけになり、より安全で良いやり方を見つけていくのではないかと感じました。

実習生を指導しながらの業務は、安全面・衛生面など普段より気を遣うものですが、その分有意義な時間を過ごすことができ良かったなと感じています。そして、なにより将来の夢に向かって何事にも一生懸命に取り組んでいる姿を見て、私たちもたくさんエネルギーをもらっています。彼女たちが負けないようにこれからもより良い給食作りを励んでいきます。



コット置き場新設

保育士 山本 紗代

2月に完成したコット置き場は、もも2組とうめ組の各部屋のスペースと2階の給食室の一部を解体し、設置しました。コット置き場ができる前までは、コットを室内や廊下に置いていました。コット置き場が出来たことで、子どもたちの安全にもつながり、見栄えもよくなりました。収納場所が確保できたことで、コットを置く台車も増やし、手運びで行っていたコットの移動が快適になりました。また、コット置き場に、棚の備品を置くスペースが確保できた事で、作業がスムーズに行っています。



新宮つばみっこマルシェ

副主任保育士 中村 千里

昨年の11月に父母の会と保育園の共同主催のマルシェが行われました。父母の会の役員さんが話し合いを行い、協力して様々な準備を行って下さったおかげで子どもたちも大人もとても楽しいひとときとなりました。今回は、新宮つばみ保育園の創立20周年記念として、父母の会が企画した子どもたちの手形を取った「スリーペアーズ」の制作も行われ、素敵な作品が出来上がりました。

また、私たち保育士もゲームコーナーを担当しました。玉乗せゲーム、ピンボール、釣りゲーム、くじ引きといった各コーナーの準備を行い、当日は交代しながら子どもたちの対応をしました。子どもたちが保護者の方や友達と一緒に嬉しそうにゲームをする姿がとても印象的でした。ゲームをした後も「すごく楽しかった！」「もう一回やりたかったー！」という子どもたちの声を聞くことが出来て私たちも嬉しくなりました。今後も父母の会と保育園で協力して子どもたちが楽しめるような催しを行っていききたいと思います。



2025年度 職員構成	
(8月1日現在42名) (※)は再掲	
園長 藤井 由理	
本園	
主任	土谷 賢吾
副主任	中村 千里
給食主任	小緑 由香利
事務主任	大浦 有平
もも1	武内 美樹・真高 明依理 岡崎 久美子
もも2	中山 遥・津留 菜里奈 増丸 伴美
うめ	山本 紗代・稲邊 舞花 永末 映里
すみれ	阿部 麻央・山口 歩美
れんげ	山内 香彩・山口 歩美 (※)
つくし	長友 隆太郎・中村 千里(※)
フリー	吉富 美緒・横大路 晴子 大石 希・馬場 小純 神谷 晴子・福田 直美
給食員	小緑 由香利(※)・桐島 知子 脇谷 浩美・則本 由美子 徳永 まゆみ・松田 知視
事務員	山口 和加奈
保育補助	堀田 登代美
用務員	長野 よし子・枝元 正昭
分園	
分園主任	中岡 千晶
もも1	中岡 千晶(※)
もも2	中岡 愛菜花
うめ	岩本 海奈
フリー	北村 知子・片岡 真理子 北村 祥子・八尋 雅世

2025年度 父母の会役員		
会長	田中 早紀	(つくし)
副会長	服部 みなみ	(すみれ)
会計	真鍋 麻美	(れんげ)
顧問	山口 純平	前年度会長